

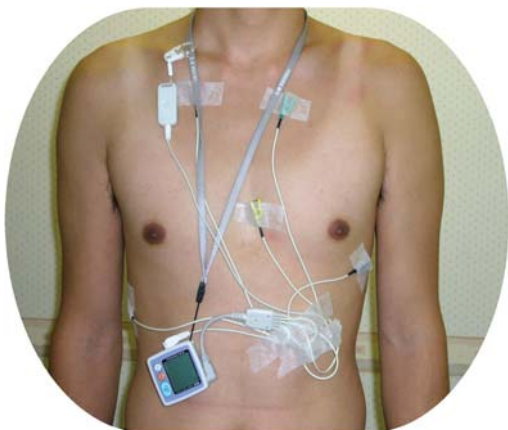
ホルター心電図（24時間心電図）

普通の「心電図」という検査は、皆さんこれまで健康診断で何度もやったことがある検査だと思います。そう、横になって、胸に吸盤みたいなのをいくつもつけて（この跡が結構残ったりするんですよ）、手首足首に洗濯ばさみみたいなをはさんで1分位安静に・・・という検査です。

もちろん心臓の異常のいくつかは普通の心電図検査でもわかります。でも、たとえば不整脈が出たり消えたりするひと、狭心症などで時々胸が「きゅっ」と苦しくなるひと、この様なひとは、症状のない時に心電図検査を行っても「正常」という結果になります。そこで、普段の心電図では異常がなくても心臓の病気が疑わしいひとに行う検査が、「ホルター心電図」（24時間心電図）なのです。

この検査は、心電図を丸1日（24時間）装着していただきます。その為、器械は大変コンパクトに出来ています。昔の器械はやや大きく、よく「弁当箱をぶら下げる検査」などと言っていましたが、今は「ちょっと大きな万歩計」といったところです。そして普通に1日生活していただきます。（入浴だけは出来ませんので1日辛抱ですが・・・）これによって、運動したときの心電図の変化なども記録されます。その為、この検査を受けていただく方には、一日の行動記録もつけて頂きます。これによって、1日の中で起きる心電図の変化を余すところなく読み取れるのです。

心臓に不安のある方、一度「ホルター心電図」を受けてみてはいかがでしょうか。また外来などでご相談ください。



意外に気になりません